

日本復興戦略（案）

はじめに

東北地方太平洋沖地震で亡くなられた方々には心から哀悼の意を表すとともに、被災された方々には心からお見舞い申し上げます。

さて、日本マクロエンジニアリング学会では日本復興研究会（仮称）を急遽設置して、復興戦略にかかる提案を取りまとめました。ポイントは、

- ・ 復興するのは被災地という狭い観点ではなく、日本あるいはそれを取り巻く世界という広い観点で復興のために、あらゆる資源（Resources）を国家的規模あるいは世界的規模で融通し合う最適化（Defragmentation）により、20年先を見据えた経済地理学的列島改造を意識しつつ、国と地方の役割分担を明確化し、戦略のための司令塔を設置すること、
- ・ 持続不可能な巨額の財政赤字を抱える日本政府に「復旧」の財源はないものの、「復興」という位置付けであれば、財政赤字解消の機会が開かれることから、「復旧」ではなく「復興」を推進し、この危機を構造改革のチャンスにすること、
- ・ 今後数ヶ月は大きな余震の可能性が否定できないために、日本全国にリスクを分散するリスクヘッジ体制を速やかに構築すること、および
- ・ 災害で日本の一部が被災したとしても、被災から免れた地域から様々な資源を融通し、日本の国力自体をバックアップできるような最適化（Defragmentation）インフラを日本全体で構築すること

であります。

本提案が東北地方太平洋沖地震による被害者の生活再建のみならず、日本全体の復興に寄与することを願う次第であります。

以上